

カンボジア淡水魚類の生態学的研究

平成 19 年度入学

派遣先国：カンボジア王国

小郷 高史

キーワード：カンボジア・トンレサップ湖・洪水林・開発・淡水魚

対象とする問題の概要

東南アジア最大の湖であるトンレサップ湖は、雨季には乾季の約 3 倍の面積に拡大するため大規模な洪水林を作り出す。洪水林は魚類の産卵、生育場所として重要な意味を持ち、巨大な漁場ともなっている。同湖の年間漁獲量は 5 万トンにも上り、メコン河の魚類を分類、整理した研究者の一人は、500 種以上の魚類が存在すると述べている[Rainboth 1996]。

カンボジアでは、国民のおよそ 3 分の 1 が漁業に関連する職に携わっており、GDP の約 16 パーセントを占めている。国民は、動物性タンパク質の 75 パーセントを水産物から摂取し、総漁獲量の 85 パーセントを内水面漁業が占める。国民の栄養面から見ても内水面漁業は重要な産業であるといえる。アンコールワットの壁面にも見られるように、魚類は大昔からカンボジア人の暮らしに密接に係わり、人々の暮らしにとって非常に大事なものであった。しかし現在、カンボジアの発展はすさまじく、開発に伴う環境破壊により資源の減少や湖の消失までも指摘されている。大規模なメコン河の開発も計画されており、これらの変化はトンレサップ湖を含むメコン水系にどのような影響を与えるのであろうか。



雨季のカンボジア



大型漁具である四手網 (Chnuok)

研究目的

ロン・ノルによる 1970 年のクーデターからクメール・ルージュ政権、その後長く続いた内戦によりカンボジアを対象とした研究は非常に限られたものである。多種多様な水生生物が存在すると言われているが、その生態に関する研究はほとんどなされていない。現在のカンボジアの社会変化を考えると、トンレサップ湖における魚類生態系を明らかにすることは急務であり、社会的にも学術的にも重要であると言える。

フィールドワークから得られた知見について

今回、カンボジアに滞在した期間は100日間である。日本国内ではカンボジアに関する文献が少ないため、まず首都プノンペンで語学の習得と並行して現地のNGOや政府機関の図書館を訪れ、魚類に関する先行研究などの文献を収集した。

このフィールドワークは調査地の設定も兼ねていたため、東南アジア研究所の河野泰之教授らのグループの調査旅行に同行させてもらい、カンボジア全土に渡って12の州を訪れた。また個人でも可能な限り市場における魚類について、聞き取りと写真撮影を行った。バタンバン州から、トンレサップ湖までの道中では、湖へ流れ込む支流であるサンカエ川をボートで下り、小規模漁業者の行う投網、漬柴、大型の築、四手網を観察した。次に、コンポンチュナン州ではトンレサップ湖とトンレサップ河の合流点にある水上集落のチュノックトゥルー村を訪れた。ここはベトナム人の住民の方がクメール人より多かった。この村は魚の集積場になっており、魚の加工風景などを観察することができた。また主に山地部であるが、土地を得るためなどの目的で開拓を行う人々の移動が見られた。これらはカンボジア社会が今まさに大きく変化していることを表しているのではないだろうか。

調査地の選定において、当初考えていたプノンペンから南に流れるバサック河右岸から、トンレサップ湖岸への変更を検討した。その理由は、トンレサップ湖の方が漁業従事者の数や用いられている漁具の種類、漁獲される魚種が豊富だったからである。また漁獲量も高く、トンレサップ湖で作られたプロホック（魚の発酵食品）などが山地部の市場でも販売されるほどで、カンボジア全土への魚類の供給源として重要な位置を占めている事なども理由として挙げられる。



トンレサップ湖上にある水上集落の様子



カンボジア東部ラタナキリ州の市場で販売されていた魚の発酵食品

今後の展開・反省点

今回の滞在は調査地の選定が主な目的であったため、具体的な調査を行うことが出来なかった。また日程的な問題もあり、カウンターパートの大学との交渉が滞在中に完了しなかった。

しかしながら、今回のフィールドワークではカンボジア国内を広く見てまわることができた。それによって調査候補地をいくつか選択することができた。同時に様々な地方の市場を訪ねる機会を持ち、ここでの聞き取りから、トンレサップから運ばれてくる魚類発酵食品などがあることがわかり、カンボジア人の生活におけるトンレサップの重要性を実感できた。これからの課題として、湖の生産量を定量的に調べる方法を検討しなければならない。

引用文献

Rainboth, W.J. 1996. *Fishes of the Cambodian Mekong*. Food and Agriculture Organization (FAO).